



「絵本、読んでますか?」「読み聞かせっていいって聞くけど、本当?」

絵本には3つの要素—①絵 ②言葉 ③物語(ストーリー)があります。

① 子どもは絵本を読んでもらいながら、一心に絵を見ています。絵は言葉を頭の中でイメージすることにも大きな助けになり(逆パターンも)、「目に見えないものを見る力(想像力)」を育みます。

② 子どもは身近な人の声で読まれる物語の楽しさにのせて言葉を身に付けていきます。

言葉が豊かになることは考えや思いが豊かになるということです。このように大切な言葉の力は、大人からの適切な語りかけ(※多すぎず、少な過ぎず。その子によります)や絵本を読んであげるという人間的なふれあいを通して、より豊かに得られていきます。

③物語が子どもの認知発達(知的・こころ)とかみ合っているか、響き合っているかが大切です。

成長段階に合った & 興味のある絵本でないと子どもは聞いてくれません。

何度も「読んで」と持ってくる絵本は、またかーと内心思ってしまうのですが、何度でも読んであげましょう!



きく、よむ、かく という言葉の力の中で、最も早く発達するのは“聞く力”。

保護者の皆さんから、言葉を育てるために家庭で普段できることや早期教育についてお尋ねを受けることがあります。いつもお答えするのは、お子さんの興味のある絵本を親子で一緒に楽しみながら読んでくださいとお伝えしています。“絵本は言葉の教科書”です。特別なお勉強をしなくても、図書館で絵本をたくさん借りて、親子で読む時間(Love time♡)を忙しい毎日ではありますが、意識的に作っててくださいね♪

□無料で最も効果的な早期教育・・・それは【親子の会話】【絵本の読み聞かせ】【スキンシップ】です。

□読み聞かせは、子どもと遊ぶのが苦手な人にもハードルが低い関わりです。

もしも、子どもと会話をすることや笑顔を向けることが苦手な家族がいたら、絵本の読み聞かせを担当してもらおうと良いでしょう。

□絵本は子どもだけでなく、親にも癒し効果があることがわかっていますよ✧

わが家も、まだ言葉でうまくコミュニケーションが取れない頃、ワンオペで一日中向き合っているとストレスが溜まってしまいそうになる中、絵本を読み聞かせしているときは、親子共に心が一つのものに向けて(これ大事♡)、物語の世界が非日常でリフレッシュでき、救われた気がします😊



常盤子育て支援センター(↑左2枚)

緑が丘遊子児童館 ふれあい(↑右2枚)

絵本がたくさんあるので、お気に入りの一冊を探してみてくださいね~!

おすすめ図書も紹介していますよ♪♪♪

